

マルホンの

HOTでスマイル

よりよいHOTライフのための広報誌



－第38号－

ご利用者の持つてる

ちから
力ってハンパない！



医療法人大誠会グループ
介護統括部 統括介護部長
黒木 勝紀 様

当苑は、群馬県沼田市にある、内田病院を中心とした医療・介護・福祉の複合体の中の一つである介護老人保健施設大誠苑です。当苑では、介護を必要としている高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下、看護・介護ケア、またリハビリ専門職による機能訓練・日常生活サービスを提供しています。ご利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に支援しています。当苑は、一般棟の「雅（みやび）」と、認知症専門棟の「華やぎ（はなやぎ）」、通所リハビリテーション「元気になあれ」があります。今回は「元気になあれ」（以下「デイリハ」）の取り組みについて、ご紹介させ

ていただきます。

当デイリハでは、在宅で高齢者の方を迎え、食事や入浴、リハビリなどのサービスを日帰りで行っています。できる事を行う事で、独自の通貨「なあれ」を稼ぎ、そのお金で楽しみを得ていただくなど、達成感や満足感でやりがいのある、充実した生活につなげています。当デイリハに通うようになり、ご利用者も動けるようになると、施設や事業所の中だけでなく、やりたいことや好きなことを自由にしたい、家族や地域の役に立ちたいと意欲的になります。私たちはその思いの実現のためにご利用者の夢を叶えるサポーターとして一緒に様々な取り組みをしています。そんな中、昨年の年末には、ご利用者と一緒に門松作りに取り組みしました。ご利用者の背丈と同じくらいの高さの門松を作るわけですから一人でできません。二人で協力して竹を立て、松を刺し、藁縄で編んでいく作業はとても力のいる仕事です。呼吸を合わせることも必要です。藁の結び方や縄の締め方はご利用者に教えてもらわなければできません。でもこのような活動にこそ



完成した門松
立派に仕上げていただきました

ご利用者の本当の姿が見えてくるのではないのでしょうか。そしてまだまだ、私たちが教えてもらわなければならないことが沢山あるし、地域の中で活躍することができるといえる場をご利用者と一緒に考えていく必要があると感じています。

今年の門松は一对のみで当デイリハで飾っただけでしたが、来年は、ご希望される法人様や企業様に向けてご利用者が作られた門松を納めることができるようご利用者と一緒に年間スケジュールを決め準備を進めていきたいと考えています。



ご利用者さまの豊富な知識と経験を活かしてご指導いただきます



吉田 啓作さん（72歳 HOT歴2年5ヵ月）



自宅前の広い畑にて大根の収穫

今回は高崎市宮沢町（旧榛名町）にお住いの吉田啓作さんにお話を伺いました。

およそ4年前に肺気腫の診断を受け、その時は特に息苦しさはなく、酸素飽和度の数値も問題ありませんでした。その半年後に間質性肺炎を併発。まもなくHOT導入となりました。HOT導入にあたって、吉田さん自身「酸素を吸うことで息苦しさはなくなるのなら使わない手はない、と前向きな姿勢で病氣と向き合っていくことに決めた。」とお話してくれました。

吉田さんが会社勤めをしていたころは、大型ダンプカーの運転手をしており、いつも手にはタバコを持っていました。1日60本近くも吸っていたそうです。周りからは吸いすぎだと注意されましたが、病気になるまでは気にせず続けていたそうです。肺気腫の診断を受けてから徐々に減らし、現在では完全に禁煙して、毎日健康管理に気をつけていらつしやいます。その健康管理の一つが散歩です。携帯酸素を使いながら午前と午後各1km歩くそうです。他にも外出時には冷たい空気が当たらないようマスクをしたり、夜は風呂から出たらずぐ寝るようにするなど、とにかく風邪だけはひかないように気をつけているそうです。おかげで3年半の間、体調を崩したことがなく、かかりつけ（上武呼吸器科内科病院）の先生にも「良く気をつけているね」と誉められます。

以前から野菜作りもしています。できたての新鮮な野菜をこそ自身で食べるのはもちろん、ご兄弟やお子様にするなどして喜ばれているとのこと。

一番の楽しみはお酒を飲むことです。欠かさず晩酌をしているそうです。中でも友達とおしゃべりしながらお酒を飲むことが生きがいです。朝起きて、痛いところもなく毎日変化なく過ごせることに感謝しながら健康でいづづける努力をしていくとのことでした。

そんな吉田さんから「決まった時間に配送に来てくれてありがとう。安心して使えるよ。」とのこと。葉をいただきました。いつも配送時に明るく出迎えてくださり、私もとても元気をいただいています。



奥様と愛犬と一緒に（玄関前）

担当者

探した地域情報

栃木エリア担当
田中雅人

三猿（日光東照宮）

平成の大修理で、日光東照宮の三猿が約40年ぶりに塗り直されました。前回修理後の顔を見比べると、表情が大分変わり、ネット上でも話題となりました。塗り直された三猿の顔を見に出かけてみてはいかがでしょう？

また、日光はカステラが有名ですが、「福徳だいふく」という大福が、東照宮境内で販売されています。私は、ずんだ大福と豆大福を食べてみましたが、豆大福が美味しく、ぜひお勧めしたい一品です。他にも、うす塩豆大福や、カスタード大福など種類も豊富で、「もしもツアーズ」でも紹介されたそうなので、散策後の一服にぜひ召し上がってみてください。



今回の修理



1973(昭和48)年修理



1951(昭和26)年修理



1923(大正12)年修理



今回修理の手本にした昭和の大修理の際の「見取り図」。似ているようでいていない気もしますが…。

右は「見ざる・言わざる・聞かざる」の全体像



入浴ボンベバッグ

入浴時の酸素の取り回しでお悩みの皆様へ、マルホンが防水タイプのボンベバッグ開発しました。

これまでは濃縮器から延長チューブを伸ばしていたためドアを閉め切ることができなかつたり、浴室にボンベセットを持ち込むときは、ビニールで覆ったりして大変だったと思います。

そんなとき、この防水バッグに入れて入浴すれば、水濡れの心配は全くせず、安心してお風呂を楽しむことができます。

また介護施設やデイサービスなど、複数のHOT患者さんが入浴される場合は、流量設定とカニキュラの交換だけで済むので、喜ばれるのではないのでしょうか。

HOTの安全情報

このバッグの特長は、完全防水で水に浮かべることができ、また大きな窓が付いているので残量の確認や呼吸調節の作動状況を外から確認できます。さらに立てて使えるように底部に厚くウレタン敷き、ボンベの大きさにくり抜いて安定させています。

患者様がより良い療養生活を送っていただけるよう、日々アイデアを考えています。

※使ってみての方がいらつしやいましたら担当までお申し付けください。オリジナル製品なので数に限りがあります。在庫切れの際はしばらくお待ちいただくことがあります。



直接シャワーをかけてもOK！

こうし

肺の病気と上手につきあいましょう

監修：松井弘稔先生
(国立病院機構 東京病院 呼吸器内科)

◆薬は正しく使用しよう

肺の病気と上手につきあうには、医師から処方された薬を規則正しく内服・吸引することが大切です。特にCOPDや気管支喘息の患者さんには吸入薬を処方されることが多く、薬ごとに容器や使い方が異なるため、正しく使うことが難しい場合があります。吸入の仕方では薬の効き方が違うこともよくあるため、自分の吸入方法が正しいかどうかの確認が必要です。テスト用の吸入器を使



用するか、朝の吸入を外来時に主治医の前で行い、確認してもらいましょう。

「大陽日酸(株)カレンダー」より許可を得て転載しています

HOTな

社員紹介

おかじま ながゆき
岡島 永幸



血液型：AB型
好きな食べ物：うどん
嫌いな食べ物：なし
欲しいもの：お掃除ロボ

こんにちは。伊勢崎・太田地区担当の岡島です。入社して18年目になります。前橋市(旧大胡町)出身で、現在は妻の両親と一緒に太田市に住んでいます。

子供は小学2年生の娘が一人ですが、ちうどインフルエンザの流行の時期になり小学校で予防の指導があったそうで、いつも帰宅するとうがい・手洗いを2人でしています。みなさんも風邪やインフルエンザには十分注意してください。

皆様に機器やポンベの説明をさせていただくと、難しいとすぐ忘れてしまうと言われることがあります。よく分からないことや忘れてしまったことがあります。いつでもご相談ください。安心して使用していただけるように分かりやすい説明を心がけます。日々の業務の中で、皆様からの温かい言葉に、いつも元気づけられ、とても助けられています。ありがとうございます。

編集後記

2月に娘二人と水上方面へ雪遊びに出かけようと計画中です。ソリ遊びを満喫してきたいと思います。(まさと)

幸せいっぱい的一年になりますように。(ひさみ)

平成31年も残り3カ月。何事をするのも平成最後です。やり残しの無いよう毎日を楽しみます。(すだ)

寒くて布団から出られず、睡魔との戦いの毎日ですが、シャキッとがんばります。(つかさ)

証人が
一人もいない 武勇伝

注目を
一身に受け 餅食べる

漢字出ず
辞書を引けども 目が見えず

老後にと
汗した家で 一人住む

まな板の
へこみに妻の 苦勞知る

『シルバー川柳』全国有料老人ホーム協会 ポブラ社編集部より抜粋

シルバー川柳

――バックナンバーございます。ご希望の方は担当者までお申し付けください。――

第38号

株式会社マルホン 「HOTでスマイル」 編集委員会 発行責任者 鈴木 武
平成31年2月1日発行 前橋市問屋町 2-16-11 TEL 027-210-7222